



私たちは一人ではない

理事長 牧野 兼三

近年、世界では中長期的な経済・社会構造の変化が起きており、それに伴うさまざまな形の格差と分断が加速しています。また、コロナ禍によってもたらされた世界中の個人主義の高まりは、ややもすると「自分さえよければ、人のことはどうでもいい」という人間の相互理解や共感の希薄化を招き、さらには社会に様々な孤立や対立の芽を生む危険性を孕んでいます。

そうした中、この春、カパティランは新たに2名の学生を社会に送り出すことができました。一人は大学を卒業し、空港の地上職員として働きます。もう一人は高校を卒業し、来年度以降の進学に備えて、まずは自分で学費を蓄えるため、お弁当屋さんで働きます。このことは、私たちにとって何よりも大きな喜びであり、誇りでもあります。彼女たちは、この数年間、奨学金を受け取りながらも日常生活の中でさまざまな課題に直面し、その中で成長を遂げてきました。ごはん会、キャンプ、ホームステイなどのプログラムを通じて、新たな友情や経験を得ると同時に、自己の新たな可能性を発見することができました。

カパティランの働きにおいて、最も大きな関心ごとであり、モチベーションとなるのは、

支援している学生の数や、皆様にご支援いただいた金額などの数字ではありません。私たちは、常に一人ひとりの学生たちが直面している課題とは何かを理解し、その解決とそれを通じた学生たちの成長と発展に深い関心を寄せて議論を続けています。当然のことですが、中には深刻すぎて私たちでは解決できない課題もあります。ただ、それでもできる限り一人ひとりに寄り添うことを大切に考えています。それによって、これまで孤立しながら生きてきた学生たちに「私は一人ではないのだ」ということを体験し、実感してもらいたいと考えるからです。

卒業して社会に出ても彼らは多くの試練にぶつかることでしょう。もしかすると再び孤立し、サポートしてくれる人を見つけることが難しくなるかもしれません。ただ、そのような時もカパティランで経験した共生の経験を生かし、今度は彼ら彼女らが他者を支援する存在となることで、「一人ではない世界」を実現する一助となってくれることを願います。そして将来的には彼ら、彼女たちが「地の塩」として社会全体に少しでも良い影響を与えることができれば、それに勝る喜びはありません。

最後に、カパティランの活動を支えてくださる皆様に改めて心から感謝を申し上げます。

卒業おめでとう



大学1年生の時から4年間、奨学生としてお支えいただいた大学生が無事卒業し、4月から社会人として働いています。ご支援、ありがとうございました。

いろいろな出会いと学びが多かった4年間

R.A. 大学4年生
フィリピンルーツ

私はこの春、長かったようで短かった大学生活を無事に終えることが出来ました。

4年前、虐待から逃げるように実家をでて、大学へ入学したものの、コロナ禍で約2年ほどオンライン授業がつづき、生活費と学費を稼ぐために飲食店で住み込みや警備員などいろいろなアルバイトをしながら過ごしていました。

地獄のような高校生活からやっと抜け出せると思っていたけれど、思い描いていたキャンパスライフとはかけ離れていて現実には生きていくのに必死でした。悪い大人に騙されることや支援機関をたらい回しにされ、大学に通う意味がわからなくなってしまったり、生きることに疲れてしまっていたけれど、カパティランに出会えたことで私の人生は救われたような気がします。

野尻湖のキャンプではじめて良子さんと直接お会いして、いつもと違う環境のなかで過ごしたことは私にとって特別な時間でした。ずっと切羽が詰まっていた私は初めて人に本音ではなすことができました。

今まで周りの大人たちに否定され続けてきたため、相談事や自分自身の意見は言うことはありませんでしたが、なぜかあの時は素直になることが出来ました。何も言わずに肯定してくれて、そこからどのようにするのがベストなのかを一緒に考えてくれたり信じてくれたことで、自分の存在が認められたような気がしました。

そこから問題の壁にぶつかるたび放置したり、逃げてばかりだったけれど、今では少しずつではありますが解決できるようになりました。

コロナが明けてからも環境が変わり新しい問題がでて大変なことも沢山ありましたが、それまでの2年間の中で様々な面で鍛えられたため、なんとか4年間耐え抜きました。自分の生活と学校で必死だったため、就職どころか卒業でさえ厳しそうでしたが、春からは無事に就職することも決まりました。

カパティランでは「人を信じること」を学べたような気がします。

生きる意味を見失ったり、大学に通うことによって自分が苦しくなっていたため何度も辞めようと考えたこともありましたが、今では友達にもめぐまれ、「もっとこうすればよかった」という後悔がたくさんあり、卒業するのが少し寂しいです。

社会に出てからも、今までに経験したことのない困難にぶち当たる日が来ると思いますが、過去の自分を信じて、後悔することがないように、いろいろなことに挑戦していきたいです。



カパティランの活動

教会訪問

浦和諸聖徒教会、大宮聖愛教会に教会訪問に行ってきました！初めての北関東です。これからはカパティランの活動をご紹介させていただくため、都内近郊の教会に少しずつ回っていこうと計画しています。



12月3日
浦和諸聖徒教会



12月17日
大宮聖愛教会

講演会

2月5日に、西千葉教会にて『同和問題』にとりくむ宗教団体 千葉県連帯会議のご招待を受け、カパティランの活動紹介と支援の必要性についてお話しさせていただきました。当日は雪にも関わらず、神道、仏教、キリスト教の様々な関係者にご出席いただき、活発な意見交換ができました。ご調整いただいた宮崎仁司祭に厚く御礼申し上げます。



学生の支援

高校を卒業後、日本で働きたいと希望する卒業生。
今後についての話し合いを、NPO法人、弁護士さん、行政書士さんのお力を借りながら、児童相談所、支援ホーム、カパティランで行いました。
在留資格の変更のためには、「内定」が必要になります。
企業としては、資格が変更できたら働きます、という不確かな状態での内定は出せず、どうしようもない状況にありました。
親しい方からご紹介いただいた企業が、そんな状況を理解してくださり、「内定」をいただくことができました。現在在留資格変更、その後の就職のために一歩を踏み出しています。

ご支援方法

◆カード

都度寄附
1回のみ寄附



継続寄附 月500円～自由な
金額で毎月継続寄附ができます。



◆郵便振替

名義:カパティラン
振替番号:
00190-3-581517

◆インターネット

Giveone
カパティランで検索
<http://www.giveone.net/>
*寄附控除・税額控除あり
・多文化共生ホームステイ
・奨学金

◆facebook



いいね!で支援
カパティラン東京



◆Instagram



♡で支援
Kapatiran.tko



■皆様のお支えに心から感謝申し上げます。

2023年12月～2024年3月（順不同・敬省略）

《個人献金》

2023年12月

井口諭司祭	小澤和	横内光乃
安達真理子	本多峰子	加納美津子
犬塚靖子	菅谷恵康	蒔田裕光
藁谷さた	藤田誠	飯塚みや子
匿名1名		

2024年1月

藤田美土里	小川和子	菅谷恵康
石崎真子	田島正城	畑井正春

2024年2月

菅谷恵康	千葉留美	藤田はるみ
藁谷さた		

2024年3月

菅谷恵康	大和通浩	豊島義雄
------	------	------

《後援会費》

可能美津子	小田京子	田中祥子
木澤洋子	藁谷さた	須藤和男
匿名1名	久保公子	宮崎仁

《多文化共生》

安次嶺佳子

《奨学金》

板橋克典	藁谷さた	安次嶺佳子
------	------	-------

《奨学金毎月支援》

安藤裕子	菊池あゆみ	小田京子
高橋宏幸	牧野兼三	山崎常城
須藤和男	井川和子	大貫尚子
永瀬良子	北村アイリーン	giveone(匿名)

《教会・団体等》

大阪聖愛教会 ハワイアンコーヒー
立教女学院藤野会奉仕委員会
聖パウロ教会 香蘭女学校
立教学院西原廉太

